

JB新聞

Jack in the Box 黒い粒々 バニラビーンズ



「バニラビーンズってなんなの？」という質問をいただいたので、今日は黒い粒々の正体バニラビーンズについてのお話。

アイスやカスタードクリーム、プリンなどに黒い粒々が入っているのを目にすることも多いだろう。しかしバニラビーンズを目にするのはほとんどないと思う。ビーンズというだけあって、豆なのかと思いきや豆類ではない。形がさや豆に似ているからビーンズと呼ばれるのだ。



ズは小枝のようになり黒く変色、中にある小さな種子が黒い粒々の正体なのだ。

バニラビーンズはとても貴重なもので、受粉できなかつたバニラの花は1日で枯れてしまい、バニラの実が成熟するには9ヶ月もかかる。栽培や人工授粉、キュアリングなどの作業を含めると、多くの費用や時間がかかるため、1本10000円近くするものもあるのだ。

そんなバニラビーンズを使ったメルティプリンが、テイクアウト可能になった。舌の上でふわりととろけ、濃厚なバニラの香りが楽しめるメルティプリン。ご自宅で楽しむもよし、贈り物にするもよ

し。保冷剤をつけてお渡しします。(店長)

12月11日(土) 2021年(令和3年) 発行所: 横浜市瀬谷区阿久和南4-12-6

Cafe Jack in the Box ☎ 045-442-5557 じゃんぼ洗車センター ☎ 045-812-6400 RAVEN株式会社 ☎ 045-443-7355 <https://cafejb.com>



続くバイク店BIKE-STUDIOの代表を務める梅沢さん。バイクは見飽きるほど生まれた時から近くにあり、趣味というよりも仕事だが、バイク仲間と一緒に走れることは孤独の共有感があるので大好きだと語る。

老舗のバイク店を営む梅沢代表は、「接した方々に嫌な思いだけはさせない」をいつも心がけているそうだ。初心者レッスンやツーリングの企画などイベントも行っているのだ、お近くの方はぜひ足を運んでみてはどうか。



そんな梅沢代表の愛車はCB1100RSファイナル(予約中)で、過去には覚えていないほどのバイクを乗り継いできた。

12月11日放送のMotorcycle Friendship「バイクの輪」のゲストは、りんこさんからのご紹介でBIKE-STUDIO 梅沢代表さんの登場です。 埼玉県浦和で50年以上

先代がHONDA販売店だったということもあり、主にHONDA車が多かったが、父親の意向を無視してKAWASAKIのゼファー400やYAMAHA V-MAXなども所有。

バイクは孤独で、最高の乗り物であると語る梅沢代表は、実はとても暗くネガティブな性格だという。夜一人バイクに乗り、心を癒しに行くことも多いとのこと。

梅沢代表のバイク人生や業界の裏話などお話をいただいた。くらさんの今日もツーリング日和は毎週土曜日20時ON AIR中!

くらさんの今日も ツーリング日和 毎週土曜 20時放送! 毎週土曜 20時放送! WG Pチャンピオン、今まで出演! マサー、芸能人がゲストから放送! 200人以上が同時放送! QRコードでホ・PC ※アプリ不要

スペアタイヤについて 最近では、コスト削減などでパンク修理剤が普及しており、スペアタイヤを積んでいないクルマはかなり減ってきている。だが、スズキ・ジムニーやトヨタ・ランドクルーザーとといった大型・大経サイズは今でも積んでいるのを見掛ける。ジムニーやランドクルーザーには同一タイヤサイズがスペアタイヤとして積んであるが、コンパクトカーになると応急用のテーパータイヤが主流である。どちらもタイヤには変わりはなく、点検を怠るといざという時に使えず積んで

る意味がなくなかなかねない。テーパータイヤは通常のタイヤよりも小さくて細く軽いという特徴があり、空気の圧の420psiと設定も高くなっている。その為タイヤにかかる負担も大きく、通常のタイヤに比べて寿命が短い。テーパータイヤの寿命は、距離にして約100km程度走行したらと言われている。交換目安については、通常のタイヤは3〜4年で交換となるがテーパータイヤには明確な交換時期はない。ゴム製品なので劣化はしていくが、トランクルームのフロア下に収まっており、紫外線による劣化はあまりなく、普段使われているタイヤよりは交換時期は長い。1年に1回、最低でも2年に1回はヒビ割れ空気圧調整をしておく、いざという時に安心だ。(工場長)



オイル交換・車検・車両整備は、カフェにて受付中!